

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス また明日いといがわ		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 14日		～ R8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	R8年 2月 14日		～ R8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域が組み込まれた一日の支援プログラムがある。 休日の活動では、買い物学習やバス乗車体験など、社会体験活動があり、自立に向けた様々な経験を重ねることができる。	事業所内でできる活動だけでなく、地域のイベントや体育館での運動プログラムを実施している。 他事業所との交流や、児童館との交流、消防署の方に話を聞くなど、地域の方や様々な人と交流する機会がある。	・引き続き、児童館や児童クラブ等地域の子どもと直接かわる活動を計画していく。 ・地域の公共施設や工場見学など、住んでいる地域での仕事をすることができる活動を計画している。
2	小1～高3までの異年齢交流や、様々な地域の学校から来ている利用者との交流ができる。	余暇時には全年齢の利用者が同じ部屋で過ごす時間を作っている。SSTなどの活動の際、子ども達で話し合いや活動ができるよう、活動内容や説明の仕方を工夫している。	・引き続き、SST等の時間の中で、利用者同士での話し合いや関わりの時間を作っていく。
3	保護者や関係者・外部の方にも事業所の活動を知っていただく工夫をしている。	毎月の通信の発行、公式LINEでの情報発信を行い、事業所の活動の様子を保護者や関係者に見えるようにしている。 休日利用時の活動の詳細を前日に配信している	・地域の方にも、放課後等デイサービス事業を理解してもらえるように、地域の学校にあいさつや自立協議会にも積極的に参加し、地域の福祉への理解を高められるようにする。 ・保護者、関係者向けの参観日や見学日等も計画し、より活動の様子を見ていただける場を設ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	指導室のスペースが人数が多いと狭いか 階段があり、歩行に時間を要する方にとっては負担が考えられる	大人数になると面積が狭く感じる 2階建てで、らせん状の階段がある	・歩行に時間が要する方に対しては、避難時等を想定して、安全に避難できるよう一階で支援を行うようにする ・歩行に支障がある方向向けの避難マニュアルを作成した
2	非常時のマニュアルが保護者の方に周知されていない	玄関横に手に取れるように設置してあるが、手に取ってみる方は少ない	・契約時の説明時に、マニュアルがあることを伝え、場所を確認していただく ・保護者の方に対して、マニュアルの場所を通信等で改めて周知させていただく
3	きょうだい児同士の交流の機会が少ない	今年度は親子イベントの際に、きょうだいの方も参加可能と案内をした。きょうだいの年齢等によっては、参加しにくいイベントであったと考えられる	・引き続き、きょうだいの方も参加可能なイベントの計画、案内をしていく ・合わせて、イベント内容に関して、遠足や運動など、より気軽に参加ができる内容のものを検討していく